

# 第3回WG検討資料

令和5年11月20日

第3回 加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームワーキンググループ

# 第3回WGの議事内容

①第2回協議会の報告内容（抜粋）

②第2回協議会での意見概要

（①②についての質疑）

20分

③第2回協議会を踏まえたワーキングでの検討内容及び進め方

（③についての質疑）

30分

各班にお願いしたい  
「宿題」の説明です

④ワーキングでの検討のための共有情報（インプット情報）

（④についての質疑）

30分

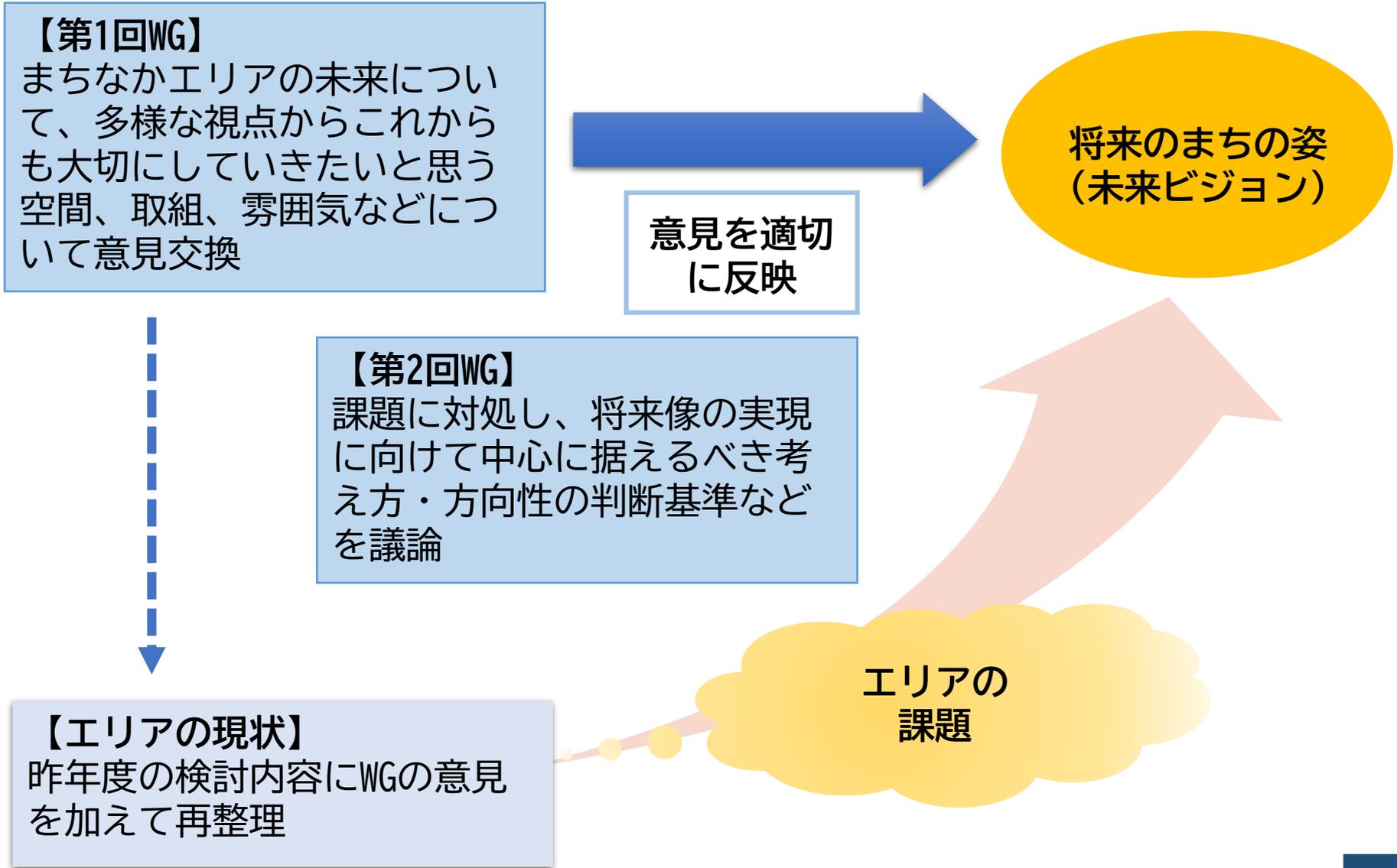
「宿題」に必要な  
情報共有です

⑤各班での話し合い（調整事項等）

10分

「宿題」に向けた  
意見交換です

① 第2回協議会での報告内容 (抜粋)



## ①第2回協議会での報告内容（抜粋）

このエリアのまちづくりに関わる人が皆で共有したいと考える将来像

(参考)未来ビジョンの構成案

01 はじめに



策定の背景、趣旨、策定の体制・経過など

02 エリアの特性と課題



エリア内の強み・弱み・機会・脅威など

03 エリアの目指す姿



ビジュアルで示すエリアの将来像など

04 具体的な取組



将来像を実現するための方針や施策など

05 推進・運営体制



エリアプラットフォームの体制・役割など

### ①第2回協議会での報告内容（抜粋）

#### まち (商店街)

- ・加茂駅を利用する若者（高校生等）は多いものの、まちなかの通行やまちなかに滞在することが少ない
- ・商店街を軸とした利用者動線は直線的になりやすく、滞留や回遊を生むような空間としての奥行きが少ない
- ・空き店舗や空き地の増加に加え、店舗から住宅への転換により商業空間としての機能や魅力が弱まる
- ・イベントを通じて得られた集客から日常的な利用者数や売上げの増加などへと結び付く機会が少ない

#### 暮らし

- ・エリア内における人口減少と少子高齢化が同時に進行している
- ・日常生活に密着した店舗などが郊外に増えたことで、エリア内の暮らしを支える機能が相対的に弱まっている

#### 交通

- ・JRの線路により新旧の市街地が構造的に分かれていることから、まちの東西を行き交う人流が生まれにくい
- ・バリアフリー化も含め、JRの線路を挟んだまちの東西を行き交うための、歩きたくなる環境づくりが必要
- ・イベント等のピーク時は特定の場所に人流の集中や駐車場不足が発生し、渋滞や利用回避を招く原因となる

#### みず みどり

- ・加茂川や加茂山はイベントなどで賑わいを見せるが、普段使いの場所としても利用者を増やせる余地がある
- ・加茂川から商店街、商店街から加茂山への人流を生み出す動線や仕掛けは意図があって初めて利用者に伝わる

#### 歴史 文化

- ・谷通りをはじめ多くの神社仏閣や土蔵、町屋や旧庄屋の建物が残っているが、「どう活かすか」がカギ
- ・人の手が入らず使われない歴史的・文化的資源は、次第に老朽化し次代に継承できなくなる恐れがある

# ① 第2回協議会での報告内容 (抜粋)

まちでの暮らし・日常の豊かさの向上  
⇒笑顔あふれるまち、訪れたいくなる価値

将来のまちの姿  
(未来ビジョン)

意見を適切  
に反映

【今後の検討】  
実現に向けた取組

エリアの  
課題

エリアの  
骨格

まち  
(商店街)

みず  
(加茂川)

みどり  
(加茂山)

## 【第1回WG】

まちなかエリアの未来について、多様な視点からこれからも大切にしていきたいと思う空間、取組、雰囲気などについて意見交換

## 【第2回WG】

課題に対処し、将来像の実現に向けて中心に据えるべき考え方・方向性の判断基準などを議論

## 【エリアの現状】

昨年度の検討内容にWGの意見を加えて再整理

①第2回協議会での報告内容（抜粋）

WGの  
議論

- 商店街は、多くの店主にとっては職住一体の暮らしの場であるとともに、周辺から訪れる人にとっては身近な観光や娯楽の場。加茂市の象徴的な空間。
- 人口減少や後継者不足を背景に、商店街の日常を支える機能の低下に伴い、住む人、訪れる人の密度が少なくなり、それが賑わいや魅力の低下へと連鎖する。
- 鯉のぼりやナイトバザールなどのイベント時に発生する賑わいや消費から、日常的な交流や商いへの還流が生まれると、大きくエリアの価値が高まる。
- 加茂川や加茂山といった憩いの場が近接していて、ゆったり時間が流れている歩行者にとって心地の良いのまちなかは、ここだからこそその価値。

ここでの暮らしの価値の向上は、身近な楽しみ・娯楽の場の形成につながっていることから、まちの魅力の維持や創出に必要な不可欠なもの

【キーワード】 まちなかでの暮らしが心地が良く幸せな日常だと思えるまち

- このエリアに住む人、働く人が住み続けたい、働き続けたいと思える環境があることで、より多くの市民がこのエリアに魅力を見出し、新たな賑わいや交流、消費が生まれ、まちの価値を高めていくことにつながる

方向性

まち(商店街)

- ・ まちなかの主骨格として高密度
- ・ 令和に暮らせる商店街づくり

みず(加茂川)

- ・ 水辺の滞在環境の向上
- ・ 舞台としてのにぎわい活用の促進

みどり(加茂山)

- ・ まとまりを生かした憩い空間としての質の向上

つながり

- ・ まち、みず、みどりの一体感の創出
- ・ ひと、もの、ことの好循環づくり

このまちの大きな資産である

- まち(商店街)
- みず(加茂川)
- みどり(加茂山)の
- つながり(活用・連携)

によって、加茂という地域の価値が高まる仕組み、仕掛けづくりを引き続き検討していく

# ①第2回協議会での報告内容（抜粋）

# 方向性に基づくエリアの将来イメージを報告 （エリアの目指す姿と方向性（案）の参考図）

- まちなかの主骨格として高密度化
- 令和に暮らせる商店街づくり

- ひと・もの・ことの好循環づくり

- まち、みず、みどりの一体感の創出

- 水辺の滞在環境の向上
- 舞台としてのにぎわい活用の促進

- まとまりを生かした憩い空間としての質の向上



## ②第2回協議会での意見概要

エリアの目指す姿と方向性（案）については、**総論的には承認された**。  
また、今後、方向性を更に具体化する際の**検討の視点が例示的に意見が挙げられた**。

### ■まち（商店街）方向性の具体化検討にあたっての視点

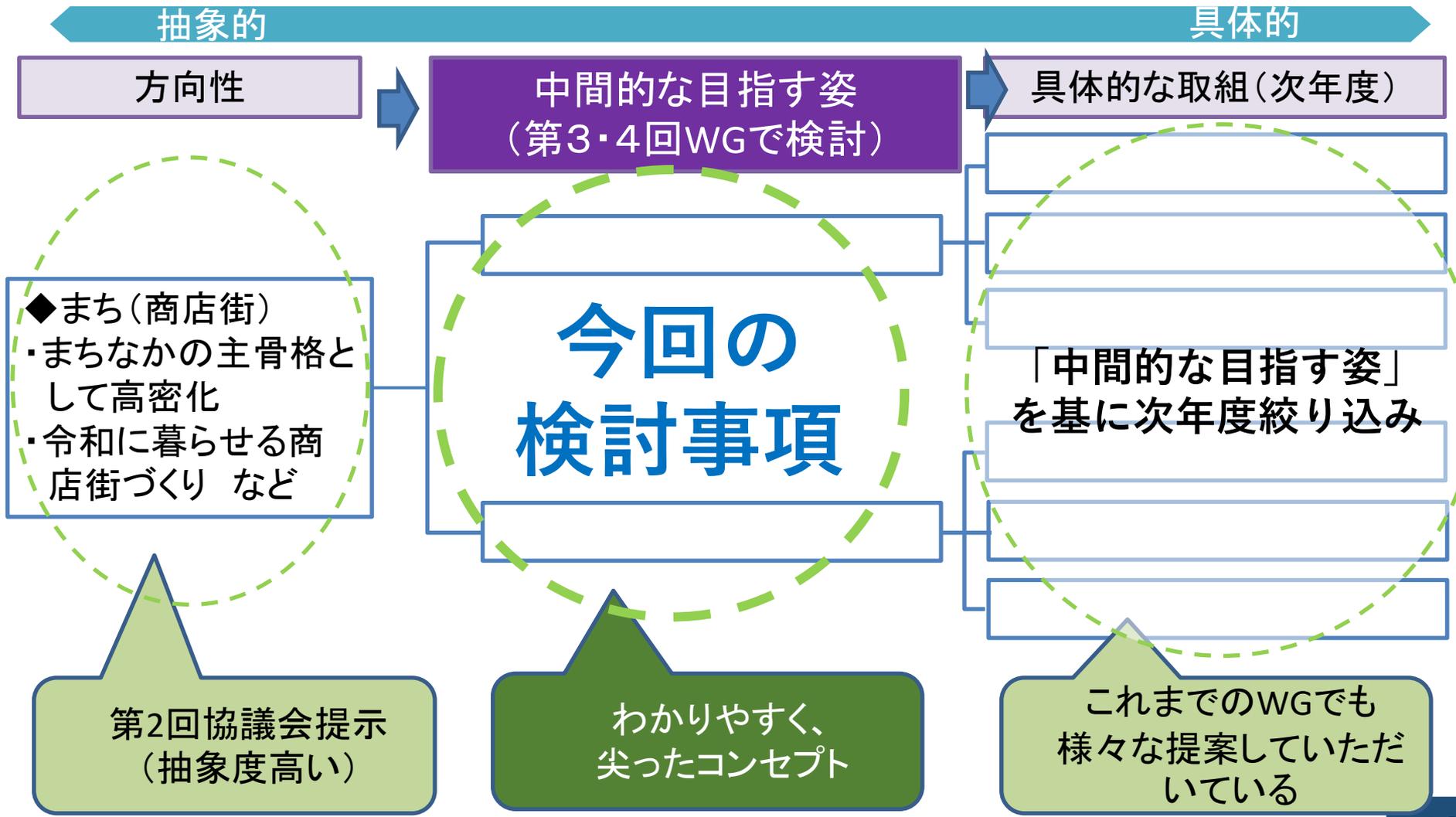
- ・ 空き店舗の増加と有効活用のあり方
- ・ 定住人口、昼間人口の減少対策（商店街の衰退の背景）
- ・ 観光等誘客のためには資源の「見せ方」「売り出し方」
- ・ 最終的な方向感（日常／観光など）

### ■今後、方向性を深掘りするにあたっての視点

- ・ リソースを踏まえた取組の優先順位  
（例：取り組みやすさ／事業性(儲かるかどうか)など）
- ・ 誰がどのようにいつやるか、長期なのか短期なのか、タイミングの目途
- ・ 周辺自治体と比較した中での加茂市の独自性、優位性  
（人を呼び寄せる場合は重要）
- ・ 民間の力や資金を活用できる仕組みづくり
- ・ 取組主体となるプレイヤーの意向の反映
- ・ 定量的なデータを踏まえた議論  
（商店街の空き店舗、業種構成、イベント等の効果など）

# ③第2回協議会を踏まえたワーキングでの検討内容及び進め方

第2回協議会で提示した4つの方向性から具体的な取組選択の「基準」となるような「中間的な目指す姿」を議論（方向性を深掘りして設定）

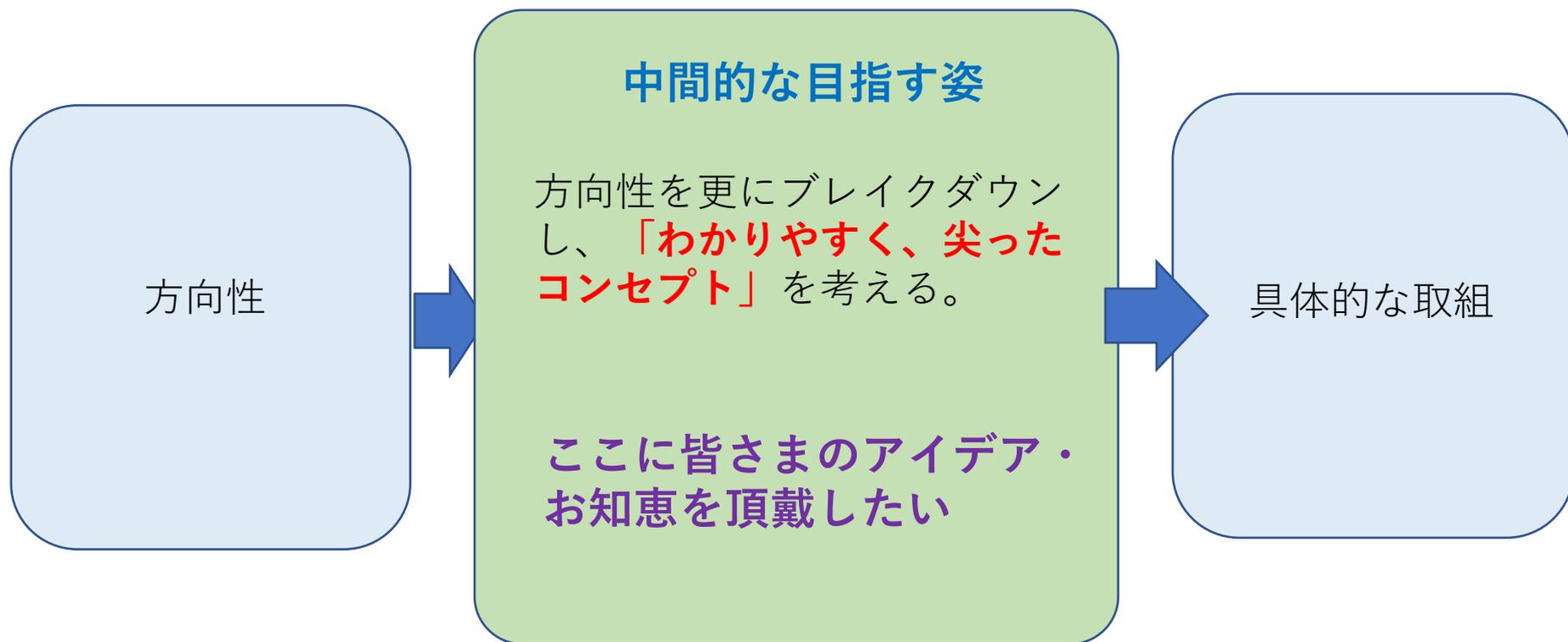


### ③第2回協議会を踏まえたワーキングでの 検討内容及び進め方

#### 【補足説明】 「方向性」を深堀するとは？

⇒「方向性」は抽象的な表現なため、これまでWGで頂いた様々な「具体的な取組」の提案を絞りこめない（優先順位を付けられない）

⇒「方向性」と「具体的な取組」の「中間的な目指す姿」を議論したい。



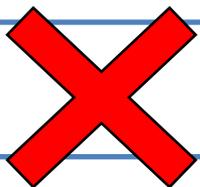
### ③ 第2回協議会を踏まえたワーキングでの 検討内容及び進め方

#### 【補足説明】

「中間的な目指す姿」 = 「わかりやすく、尖ったコンセプト」のイメージ

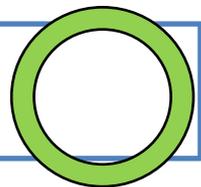
#### 中間的な目指す姿

かっこよく渋い  
大人になりたい



もっと、具体的にしないと、そのために何をすれば良いのか決められない・・・

伝説のロッカー○○  
さんみたいになりたい



革ジャンを着る

バイクの免許とる

金髪・リーゼントにする

などなど

何をしなければいけないか  
具体的に決めることができる

今回のテーマは  
こちら

# 「中間的な目指す姿」を考える

【方向性】		【中間的な目指す姿】 (わかりやすく、尖ったコンセプト)	【具体的な取組】
まち (商店街)	まちなかの主骨格として高密化	意見 意見 意見 意見 意見 意見	
	令和に暮らせる商店街づくり		

《個人ワーク》

- まずは、**思い付くこと**を「ふせん紙」に書いていき、ワークシートに貼っていきます。

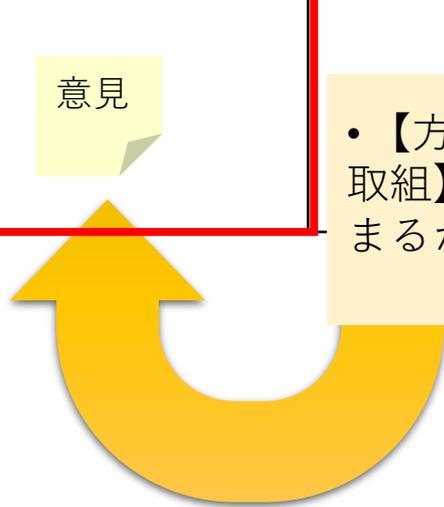
《グループワーク》

- 類似した意見をまとめたりしながら、グループの意見を整理していきます。

今回のテーマは  
こちら

# 「中間的な目指す姿」を考える

【方向性】 ありたいまちの姿 のキーワード		【中間的な目指す姿】 (わかりやすく、尖ったコンセプト)			【具体的な取組】
まち (商店街)	まちなかの主骨 格として高密化	意見	意見	意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 時には「具体的な取組」に該当する意見が出ることも考えられます。</li> <li>• その場合は、ファシリテーターが「具体的な取組」に分類します</li> </ul>
	令和に暮らせる 商店街づくり	意見			



## 3グループに分けて、「中間的な目指す姿」を考える

### 方向性

まち(商店街)

- ・まちなかの主骨格として高密化
- ・令和に暮らせる商店街づくり

みず(加茂川)

- ・水辺の滞在環境の向上
- ・舞台としてのにぎわい活用の促進

みどり(加茂山)

- ・まとまりを生かした憩い空間としての質の向上

### つながり

- ・まち、みず、みどりの一体感の創出
- ・ひと、もの、ことの好循環づくり

Cグループ

Aグループ

Bグループ

各班共通

※**担当した方向性をメイン**で検討を進めていただきますが、  
「**つながり**」を議論する場合など、**他の班の担当にも「言いたい」**  
ことが出てくると思います。➡**サブテーマとしてとりまとめ**

### ③第2回協議会を踏まえたワーキングでの 検討内容及び進め方

### ワークシート（作業用） （Cグループ：「まち（商店街）」担当の例）

#### ◆メインのワークシート

【方向性】		【中間的な目指す姿】 《今回の検討テーマ》	【具体的な取組】
まち (商店街)	まちなかの 主骨格とし て高密化		
	令和に暮ら せる商店街 づくり		
つな がり	まち、みず、 みどりの一 体感の創出		
	ひと、もの、 ことの好 循環づくり		

#### ◆サブのワークシート

【方向性】		【中間的な目指す姿】 《今回の検討テーマ》	【具体的な取組】
みず (加茂川)	水辺の滞在 環境の向上		
	舞台として のにぎわい 活用の促進		
みど り (加茂山)	まとまりを 生かした憩 い空間とし ての質の向 上		

### ③第2回協議会を踏まえたワーキングでの 検討内容及び進め方

## 成果シート

(Cグループ:「まち(商店街)」担当の例)

メインテーマ

まち(商店街)		
方向性	中間的な目指す姿	
まちなかの主骨格として高密度化	コンセプト	(キャッチフレーズ的に記載)
	説明	(コンセプトに込めた内容、想い等補足説明)
	シーン	(ありたい暮らし・まちの姿をシナリオ的に記載)
	根拠・必要性	(発想の裏付けとなったエビデンス等を記載)
令和に暮らせる商店街づくり	コンセプト	
	説明	
	シーン	
	根拠・必要性	

つながり		
方向性	中間的な目指す姿	
まち、みず、みどりの一体感の創出	コンセプト	(キャッチフレーズ的に記載)
	説明	(コンセプトに込めた内容、想い等補足説明)
	シーン	(ありたい暮らし・まちの姿をシナリオ的に記載)
	根拠・必要性	(発想の裏付けとなったエビデンス等を記載)
ひと、もの、ことの好循環づくり	コンセプト	
	説明	
	シーン	
	根拠・必要性	

サブテーマ

みず(加茂川)		
方向性	中間的な目指す姿	
水辺の滞在環境の向上	コンセプト	(キーワードレベルでもOK)
	説明等	(補足的な説明でもOK)
舞台としてのにぎわい活用の促進	コンセプト	
	説明等	

みず(加茂川)		
方向性	中間的な目指す姿	
まとまりを生かした憩い空間としての質の向上	コンセプト	(キーワードレベルでもOK)
	説明等	(補足的な説明でもOK)

③ 第2回協議会を踏まえたワーキングでの  
検討内容及び進め方

**【第3回ワーキング：本日】**  
各班の検討内容及び進め方を共有



各班で日程調整して、ワーク日を決め、集合・議論



ワークの結果をファシリテータ側で整理・とりまとめ  
⇒整理結果をメール等で参加者に送付  
⇒参加者側で確認し、必要に応じて修正等



**【第4回ワーキング：12/18（月）】**  
各班の検討結果を発表・共有

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

まち(商店街)

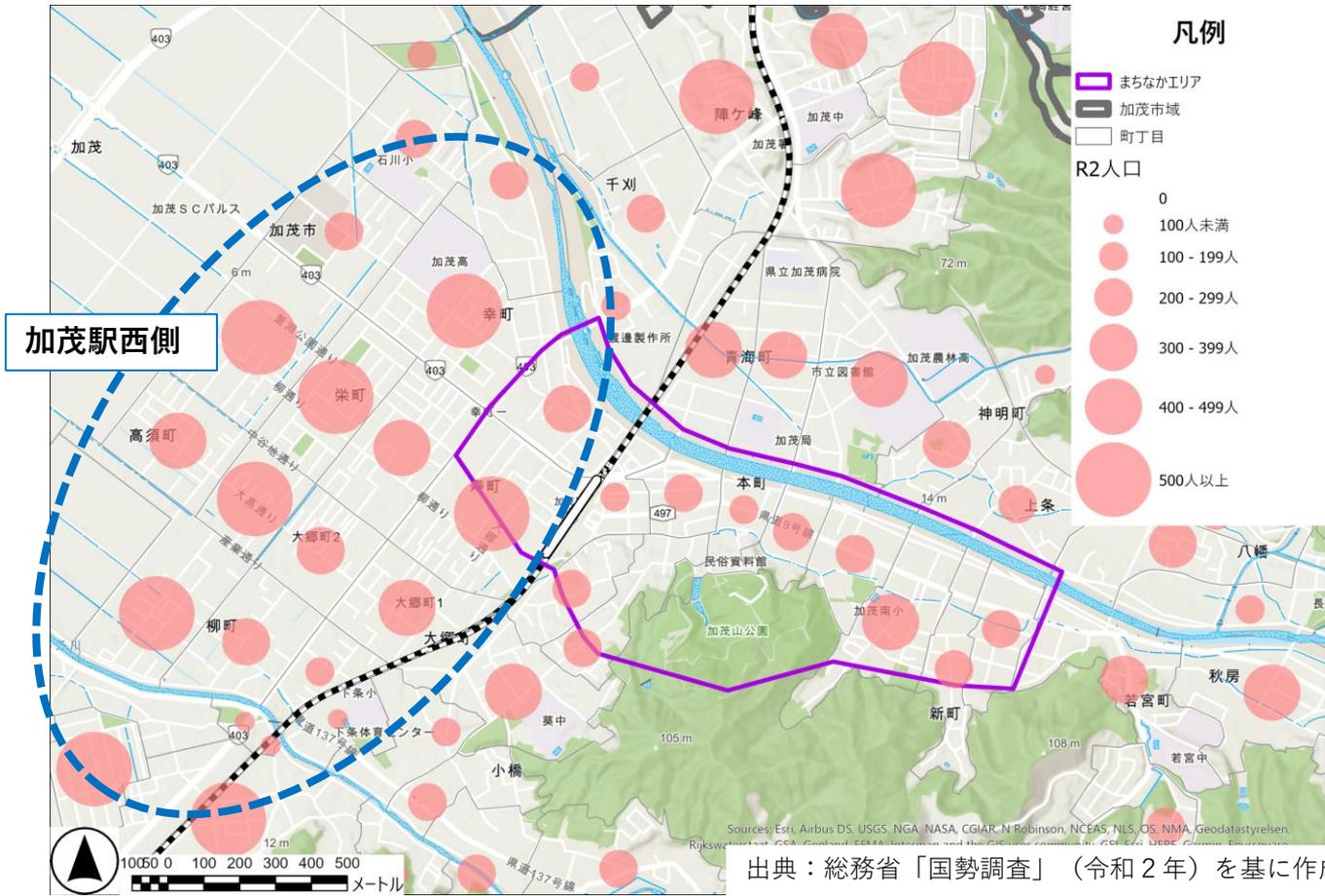
- ・まちなかの主骨格として高密度
- ・令和に暮らせる商店街づくり

## まちなかの人口

町丁目別の人口分布 (令和2年)

人口は加茂駅西側に集積しており、まちなかエリアの人口は相対的に少なくなっている

■町丁目別の人口分布



# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

### まち(商店街)

・まちなかの主骨格として高密度化

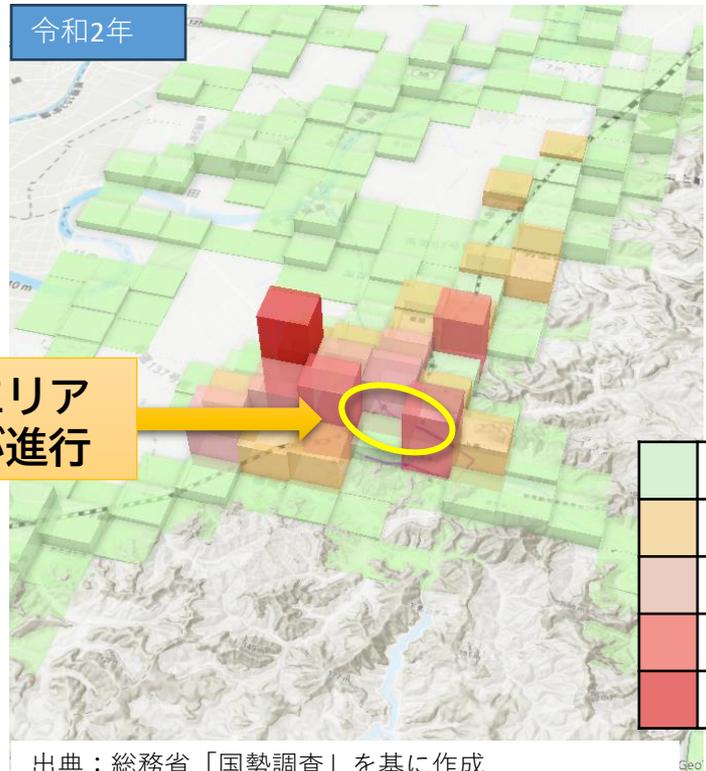
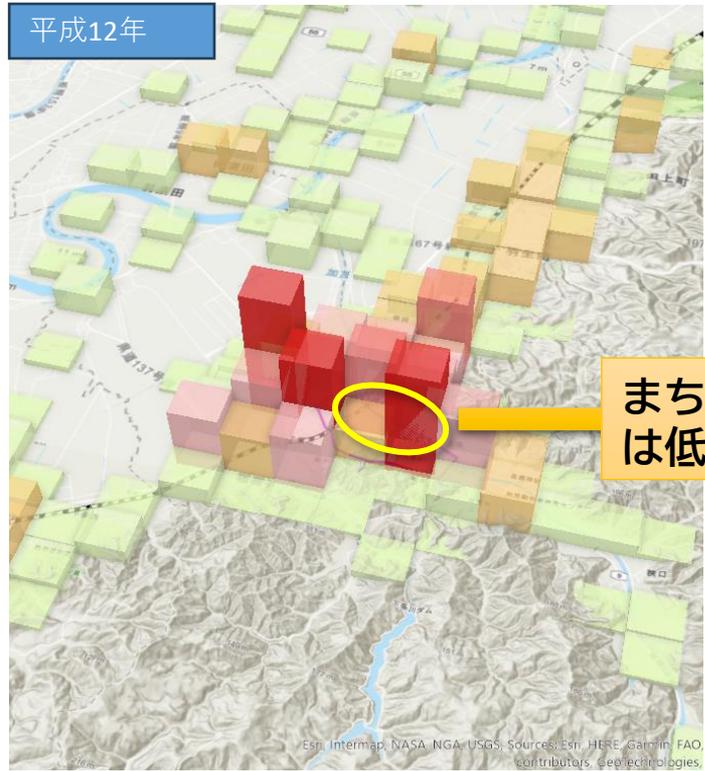
・令和に暮らせる商店街づくり

### まちなかの人口

### 過去20年間の人口分布変化

- 過去20年間でまちなかエリアは、加茂駅西側に比べて人口減少が顕著
- 20年前は約40人/ha (市街地の目安) 以上で、50人/ha以上のエリアもあったが、現在では30人/ha以上 ⇒ **人口減少に歯止めをかけることが重要**

■500mメッシュ別の人口密度分布



まちなかエリアは低密化が進行

20人/ha未満
20~30人/ha
30~40人/ha
40~50人/ha
50人/ha以上

出典：総務省「国勢調査」を基に作成

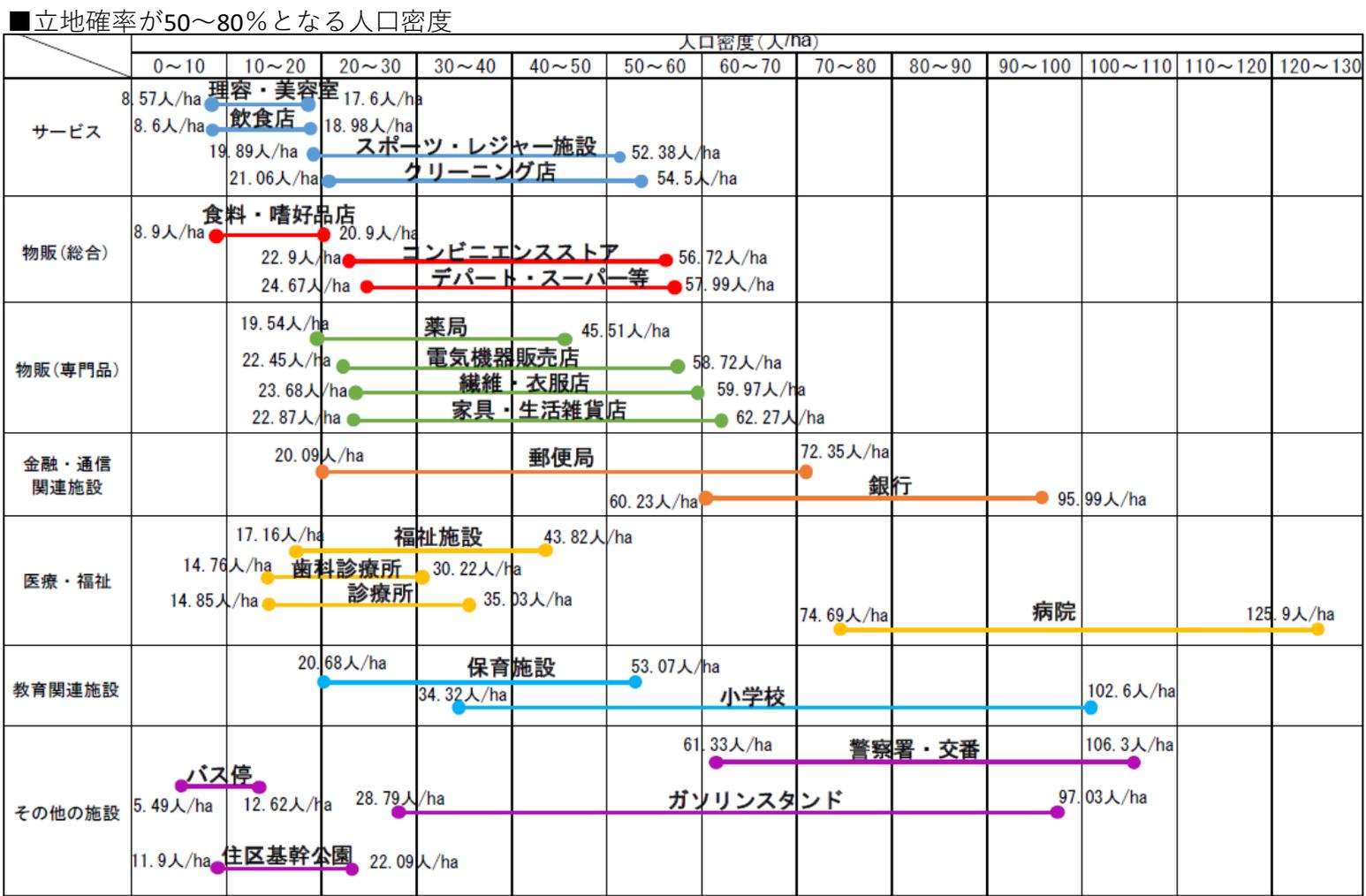
# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 参考

### 人口密度と施設の立地確率に関する研究結果 (広島県内の自治体を対象とした研究)

人口密度の低下は、生活関連サービスの存続を危うくする可能性を指摘



出典：人口密度を指標とした都市施設の立地傾向に関する調査報告

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

### まち(商店街)

・まちなかの主骨格として高密度

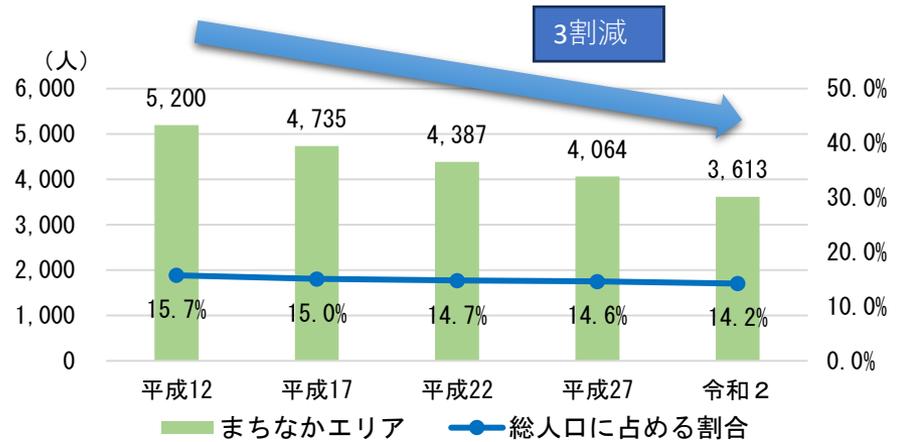
・令和に暮らせる商店街づくり

### まちなかの人口

### 過去20年間の人口変化

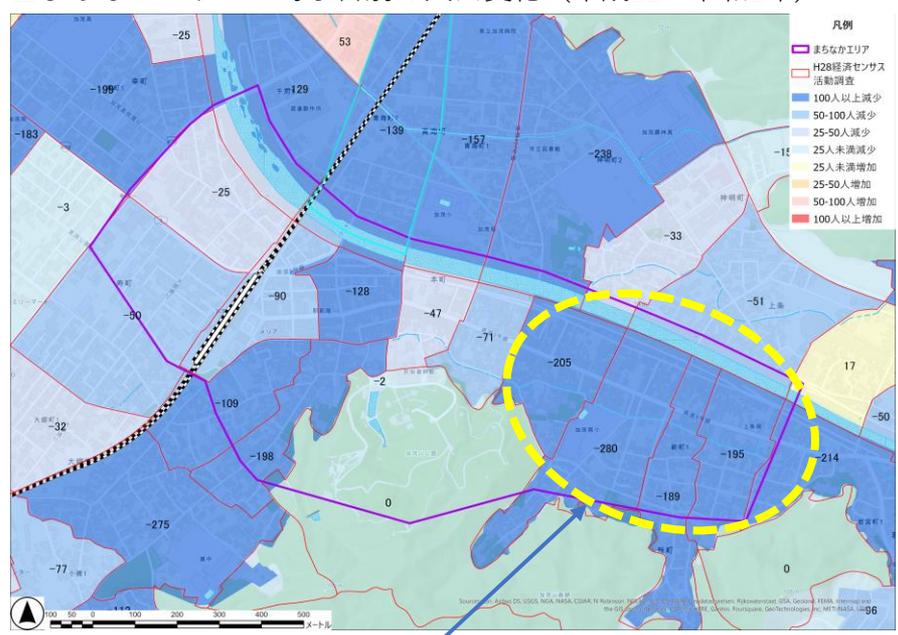
過去20年間でまちなかエリアは人口が3割減、上町、五番町、新町1・2丁目は4割減  
⇒道路整備などこれまでの投資してきた**既存ストック**が生かされていない

■まちなかエリアの人口推移



町丁目	平成12	平成17	平成22	平成27	令和2	令2/平12	令2-平27
本町	150	131	120	110	103	-31.3%	-47
仲町	275	262	228	219	204	-25.8%	-71
上町	500	445	396	337	295	-41.0%	-205
五番町	699	582	527	471	419	-40.1%	-280
新町一丁目	484	441	416	363	295	-39.0%	-189
新町二丁目	432	401	351	293	237	-45.1%	-195
穀町	365	343	305	274	237	-35.1%	-128
駅前	271	212	224	189	181	-33.2%	-90
番田	405	373	404	405	380	-6.2%	-25
寿町	774	759	744	785	724	-6.5%	-50
松坂町	467	441	367	331	269	-42.4%	-198
岡ノ町	378	345	305	287	269	-28.8%	-109
合計	5,200	4,735	4,387	4,064	3,613	-30.5%	-1,587

■まちなかエリアの町丁目別の人口変化 (平成12～令和2年)



189～280人の減少幅

出典：総務省「国勢調査」を基に作成

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

### まち(商店街)

・まちなかの主骨格として高密度化

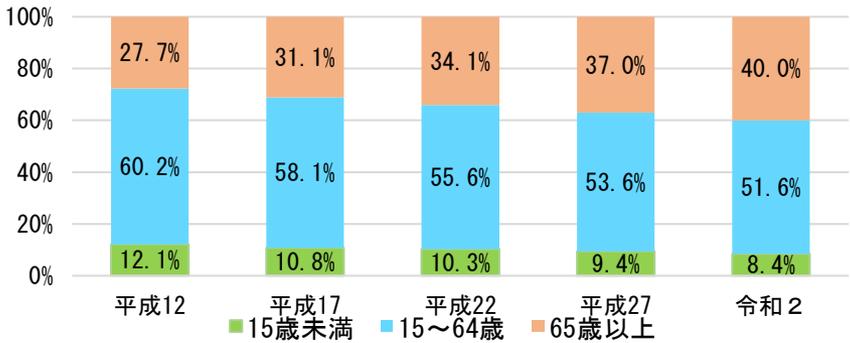
・令和に暮らせる商店街づくり

### まちなかの人口

### 過去20年間の年齢別人口割合の変化

- 過去20年間でまちなかエリアの高齢化率は28%から40%に増加し、新町二丁目は概ね2人に1人が高齢者（高齢化率：49%）
- 過去20年間で15～64歳人口は4割減、15歳未満人口は半減  
⇒高齢者が暮らし続けられると同時に若い世代が住みたいと思うまちづくりも重要

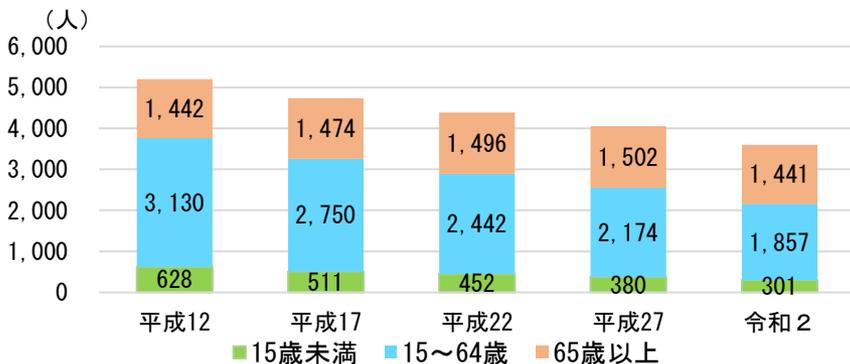
■まちなかエリアの年齢別の人口割合の推移



■まちなかエリアの高齢化率の推移

町丁・字等	平成12	平成17	平成22	平成27	令和2	令2-平12
本町	24.7%	29.0%	30.1%	39.1%	35.0%	10.3
仲町	35.6%	39.3%	43.0%	42.9%	43.6%	8.0
上町	29.4%	31.9%	36.1%	41.5%	43.1%	13.7
五番町	29.8%	30.8%	37.2%	43.1%	46.8%	17.0
新町一丁目	26.4%	31.1%	35.8%	37.7%	41.7%	15.2
新町二丁目	33.3%	37.4%	38.7%	39.6%	48.5%	15.2
穀町	32.1%	32.1%	34.8%	36.9%	40.9%	8.9
駅前	22.9%	28.3%	31.7%	34.4%	38.1%	15.2
番田	19.3%	24.9%	25.2%	27.2%	31.8%	12.6
寿町	22.4%	27.9%	30.9%	32.7%	33.0%	10.7
松坂町	30.4%	30.8%	31.6%	36.3%	44.2%	13.8
岡ノ町	28.6%	33.0%	36.7%	40.4%	40.9%	12.3
合計	27.7%	31.1%	34.1%	37.0%	39.9%	12.2

■まちなかエリアの年齢別の人口の推移



出典：総務省「国勢調査」を基に作成

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

### まち(商店街)

・まちなかの主骨格として高密度化

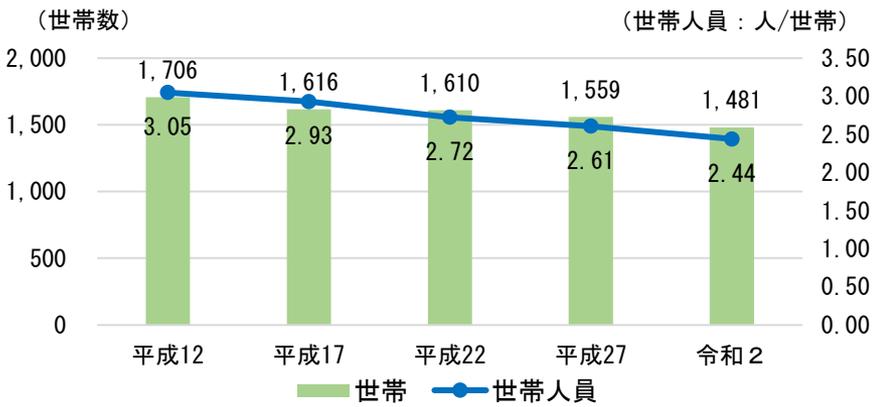
・令和に暮らせる商店街づくり

### まちなかの世帯数

### 過去20年間の世帯の変化

- 過去20年間でまちなかエリアの世帯数は1割減、上町、五番町、新町1・2丁目は2割減  
⇒人口・世帯減少が進むと**今後は空き家が増大**する可能性
- 世帯規模は過去20年間で3.05人/世帯から2.44人/世帯と小規模化が進行しており、高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が増加していると想定  
⇒高齢世帯が**家に閉じこもり(孤立)しない**ようなまちづくりが重要

■まちなかエリアの世帯数の推移



町丁目	平成12	平成17	平成22	平成27	令和2	令2/平12
本町	40	36	41	37	38	-5.0%
仲町	100	97	92	89	85	-15.0%
上町	151	143	138	126	118	-21.9%
五番町	235	212	204	189	173	-26.4%
新町一丁目	149	145	143	135	120	-19.5%
新町二丁目	143	140	131	113	104	-27.3%
穀町	116	115	104	103	93	-19.8%
駅前	86	73	78	70	71	-17.4%
番田	132	127	141	150	150	13.6%
寿町	277	266	295	322	317	14.4%
松坂町	155	151	137	126	115	-25.8%
岡ノ町	122	111	106	99	97	-20.5%
合計	1,706	1,616	1,610	1,559	1,481	-13.2%

出典：総務省「国勢調査」を基に作成

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

まち(商店街)

・まちなかの主骨格として高密度化

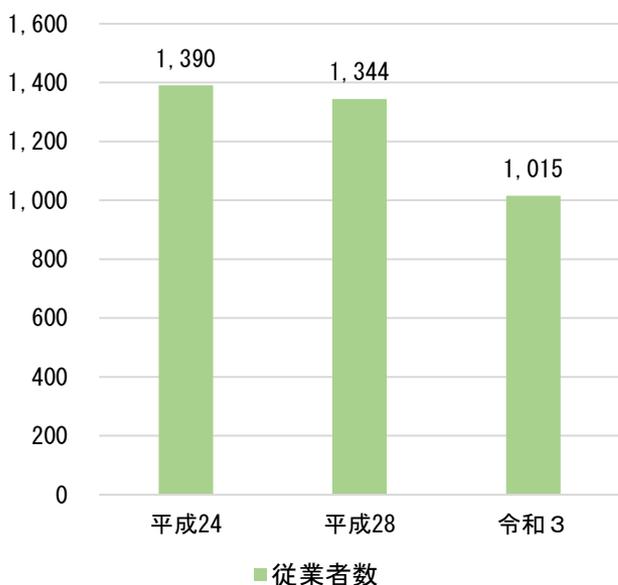
・令和に暮らせる商店街づくり

まちなかで働く人

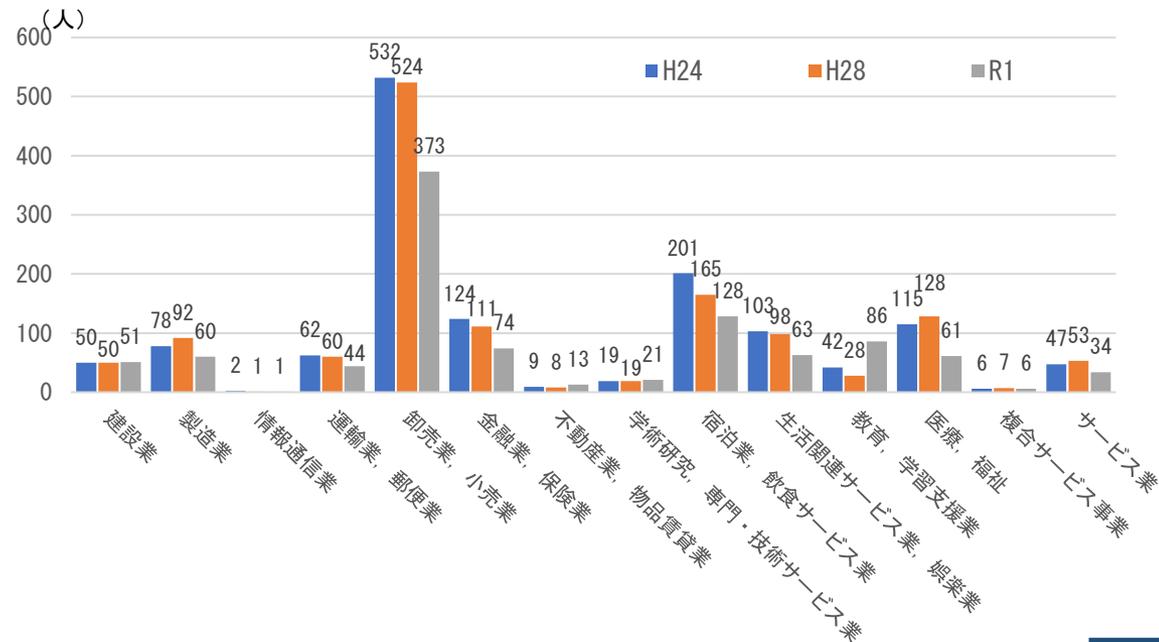
過去20年間の従業者の変化

- 従業者数は平成24～平成28年が微減程度であったものが平成28～令和3年で1 / 4減少
  - 業種別には最も多い卸売業、小売業の減少が顕著なほか、高齢化が進む中で医療、福祉の従業者も減少
- ⇒ビジネスの空間として**創業・起業に対する支援**が重要

■まちなかエリアの従業者数の推移 (人)



■まちなかエリアの業種別の従業者数の変化



※五番町、駅前、穀町、上町、新町1・2丁目、仲町、本町の値を集計

出典：総務省「経済センサス活動調査」を基に作成

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

### まち(商店街)

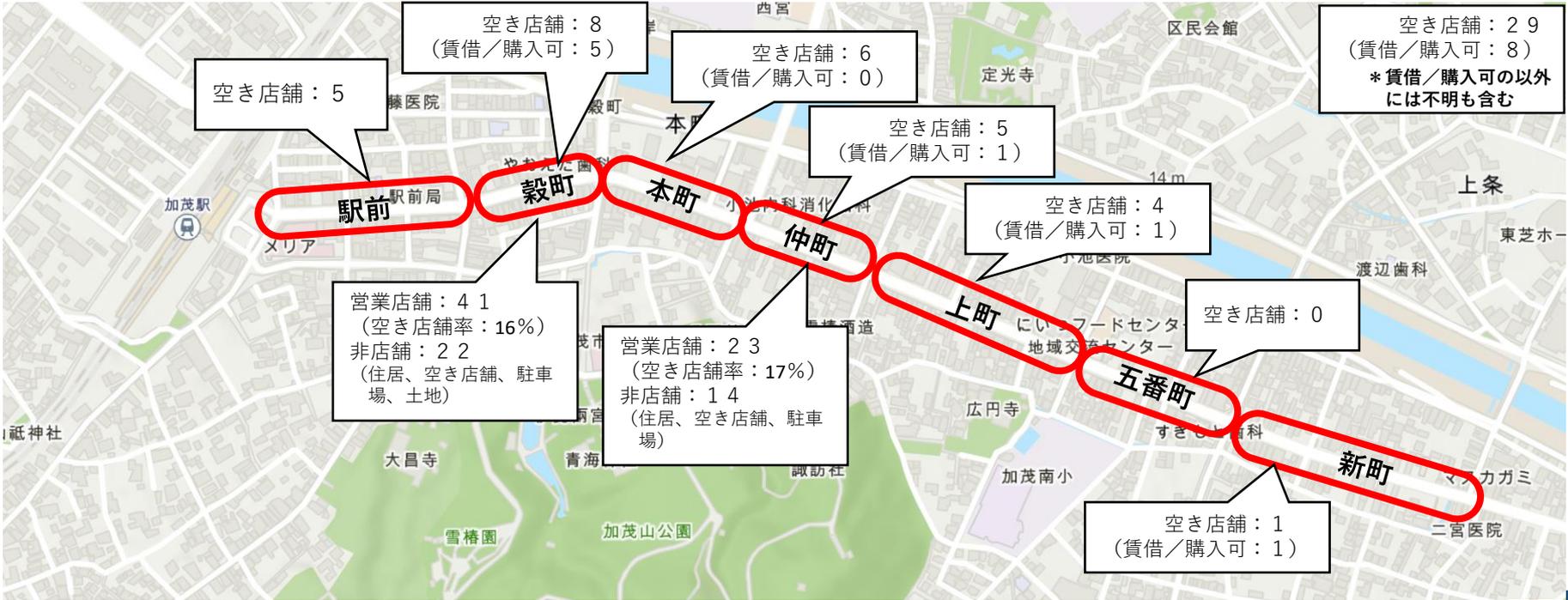
- ・まちなかの主骨格として高密度
- ・令和に暮らせる商店街づくり

### 商店街の空洞化

### 空き店舗等の状況

- 空き店舗 (29店舗) のうち賃借／購入可は8店舗
- 住居等の非店舗化も進行
- 空き店舗に対しては「加茂市空き店舗対策事業費補助金」により有効活用を支援  
⇒ 空き店舗の有効活用に向けた **物理的・心理的ハードルを解消**することが重要

■ 商店街の空き店舗の状況



出典：「商店街空き店舗調査」（令和5年4月1日）を基に作成

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

### まち(商店街)

- ・まちなかの主骨格として高密化
- ・令和に暮らせる商店街づくり

### 日常の賑わい

### 歩行者の通行量②

- 加茂駅から離れるにつれて歩行者通行量が減少する傾向
- 駅周辺は平日・休日とも400人/日である一方、新町付近は100人未満/日  
⇒沿道の店舗集積、土地利用、地域資源などポテンシャルに差異があり、特性を踏まえた「性格付け」(ゾーニング)が重要

■まちなかエリアの歩行通行量 (\*auスマートフォンユーザーに基づく推計値)



※吹き出しの上段は平日の1日平均、下段は休日の1日平均

データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」  
 ※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

まち(商店街)

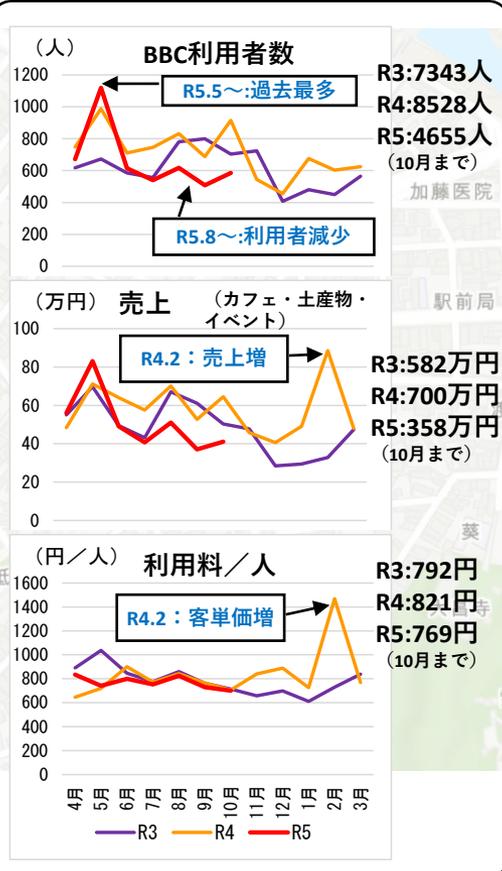
- ・まちなかの主骨格として高密度化
- ・令和に暮らせる商店街づくり

商店街のにぎわい

施設利用者・イベント参加者

- BBCは令和3年～4年に利用が増加したが、令和5年が足踏みの状況
- 地域交流センターの利用者数はコロナ前から漸減しており、コロナ後も回復途上 ⇒ 利用状況、施設の老朽化状況を踏まえて、**公的資産としての有効活用が重要**

■商店街の公的集客施設の利用状況



出典: 加茂市資料を基に作成

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

### まち(商店街)

- ・まちなかの主骨格として高密度
- ・令和に暮らせる商店街づくり

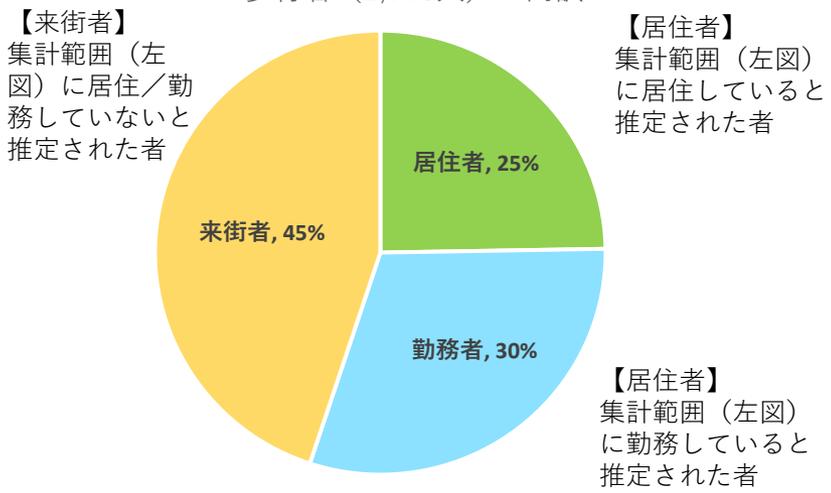
### 商店街のにぎわい

加茂ナイトバザール (9 / 22)

- 第1回の加茂ナイトバザールでは、auスマートフォンユーザーベースで来街者を含む約1800人の歩行者交通量が発生  
⇒まちなかエリア外からも集客しており、**市民にとって「ケ」を体験する機会**



歩行者 (1,770人) の内訳



**【キッチンカー売上】**  
第1回 (9/22)  
・ 21台参加 1,024,500円  
第2回 (10/20) 雨天  
・ 25台参加 529,000円

データ提供: KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」  
※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

### まち(商店街)

・まちなかの主骨格として高密化

・令和に暮らせる商店街づくり

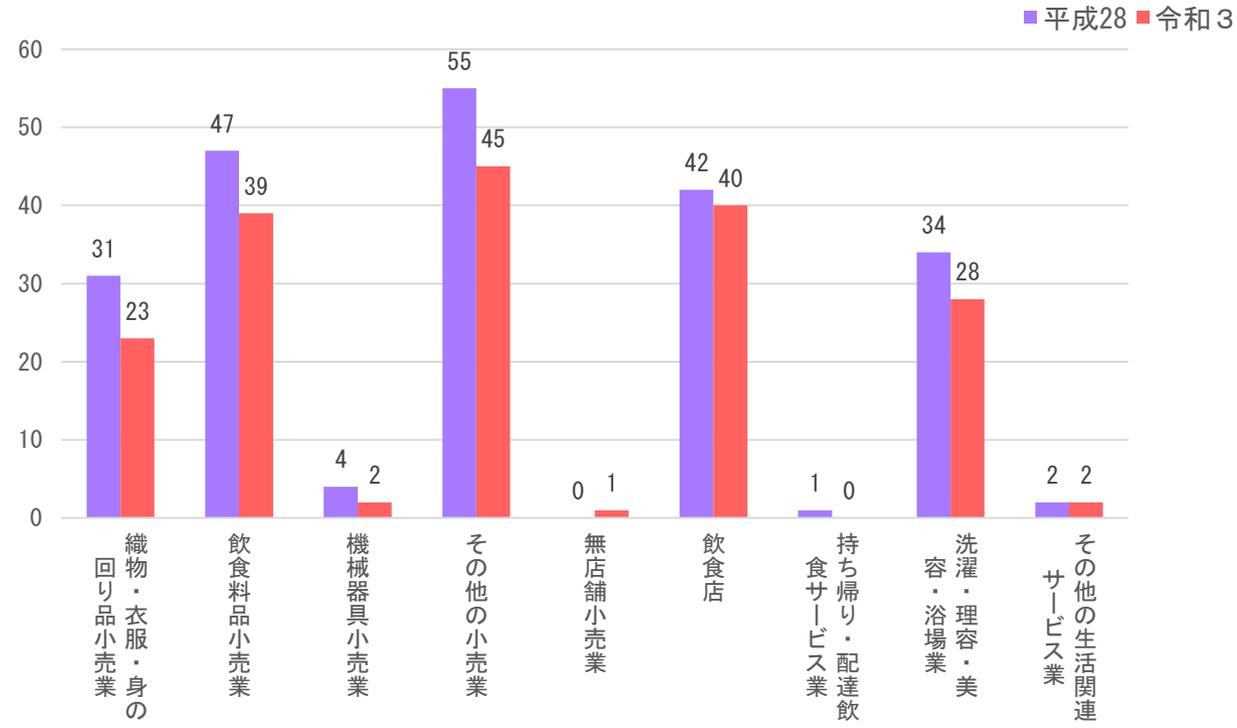
商店街の日常を支える機能

業種構成

- 過去5年間で飲食店は2店舗の減少に留まっているが、日用品である飲食料品小売業及び買い回り品である織物・衣服・身の回り品小売業は8店舗減少  
⇒日常を支える機能の衰退は、**更なるまちの価値の低下**を引き起こす

■まちなかエリアの商業・サービス関連の業種構成

(店)



※五番町、駅前、穀町、上町、新町1・2丁目、仲町、本町の値を集計

出典：総務省「経済センサス活動調査」を基に作成

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

### みず(加茂川)

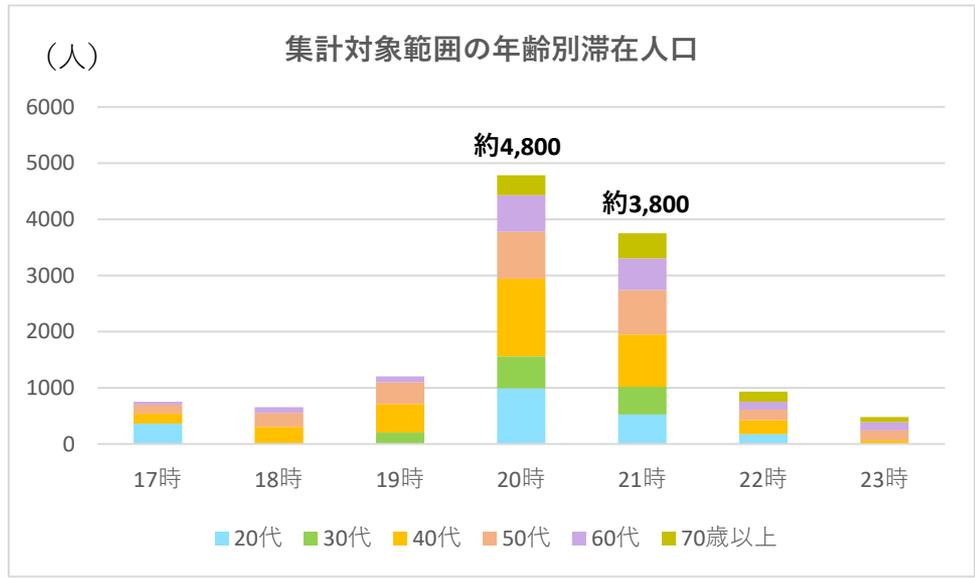
- ・水辺の滞在環境の向上
- ・舞台としてのにぎわい活用の促進

## 加茂川のにぎわい

### 第38回越後加茂川夏祭り滞在人口

- 令和5年の越後加茂川夏祭りでは約3万人の入込客数を観測 (加茂商工会議所資料より)
- 携帯電話位置情報では20~21時台で38~48千人の滞在人口が観測され、**若い世代、ファミリー世代など多様な世代が参加**

■第38回越後加茂川夏祭り (8/14) の滞在人口集計範囲 (150m圏)



データ提供: KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」  
 ※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

みどり(加茂山)

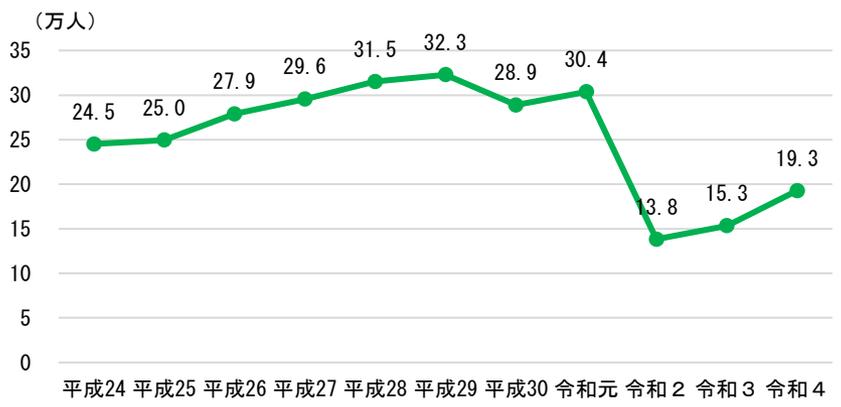
まとまりを生かした憩い空間としての質の向上

加茂山のにぎわい

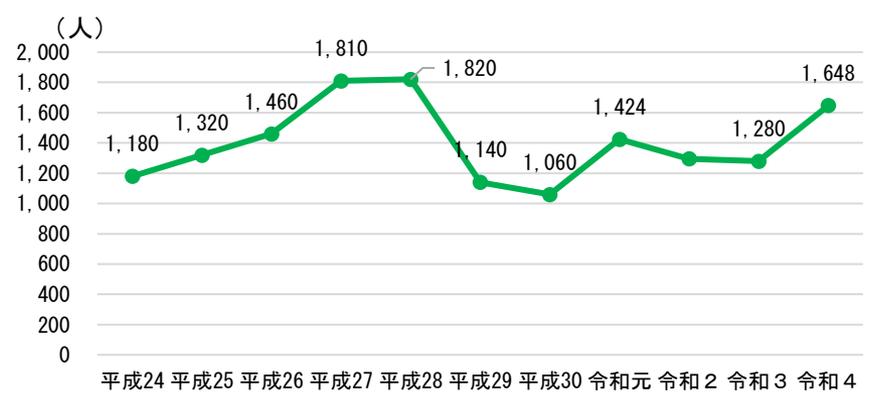
加茂山公園等の入込客数

● 加茂山公園の入込客数はコロナ前は約30万人であったが、回復途上

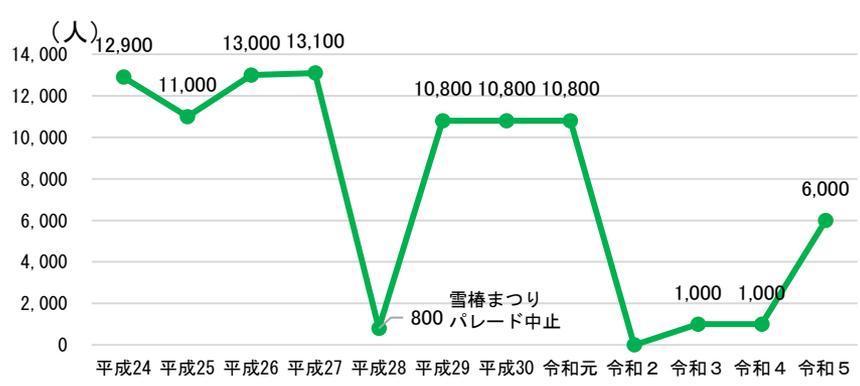
■加茂山公園の入込客数の推移



■加茂市民俗資料館の利用者数の推移



■雪椿まつりの入込客数の推移



出典：加茂市資料を基に作成

# ④ワーキングでの検討のための共有情報 (インプット情報)

4つの方向性を深掘りしていくにあたり、議論に必要なデータ・資料を示す。

## 方向性

みどり(加茂山)

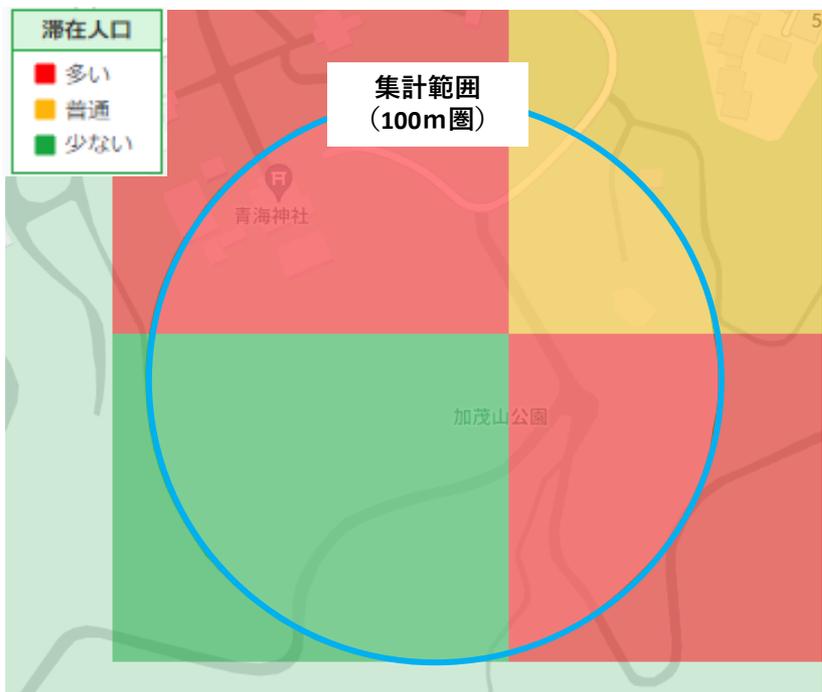
まとまりを生かした憩い空間としての質の向上

加茂山のにぎわい

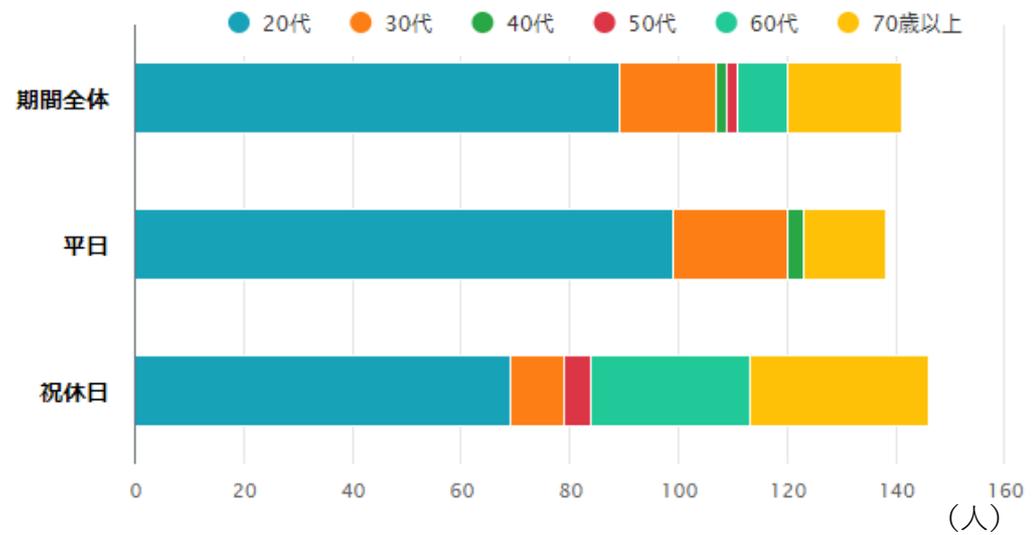
加茂山公園周辺の滞在人口

- 1日利用者は140人／日前後で平日・休日の差異が少ない
- 青海神社～モミジにかけてのエリアでの滞在が中心で、年齢別では若い世代が中心  
⇒ **多世代交流の空間**として利用促進の余地あり

■加茂山公園の滞在人口 (令和5年10月の1か月)



■加茂山公園の年齢別滞在人口 (日平均)



データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」  
 ※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。

## ⑤各班での話し合い（調整事項等）

1. ワーク日の日程調整
2. ワーク日までに事務局に準備を依頼したい事項  
（データ・資料提供等）
3. その他  
（各班メンバーへの個別宿題、役割分担等）